



本格的な冬シーズンに向けて 冬用タイヤ・チェーンの 準備と装着を！

近年、予想を超える大雪となるケースが増えています。降雪の影響により車両が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしかねません。交通渋滞などを引き起こした事業者には監査が行われ、講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。積雪・凍結路を走行する場合は、必ず適切な冬用タイヤやチェーンの携行・装着をお願いします。



2020年12月に発生した、関越自動車道などでの長時間にわたる立ち往生。(画像:国土交通省)

積雪・凍結路での走行時は、 事前の準備と危険を回避する運転を！

- 溝の深さが新品時の**50%以上**ある冬用タイヤを全車輪に装着
- 携行するチェーンの**摩耗・損傷の点検と装着の事前練習**
- 降雪時には、立ち往生する前に**早めのチェーン装着**を
- 冬用タイヤおよびチェーンは性能限界があるため、運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**



残り溝深さが「フラットホーム」に達している状態。
冬用タイヤとして使用できません。(画像:国土交通省)

出典:国土交通省「雪道での立ち往生に注意!-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-」「冬用タイヤの溝深さに注意!-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-」、公益社団法人 全日本トラック協会「雪道対策マニュアル」

雪道走行の心得と
対策ポイントは
こちらから

